

令和元年8月30日 定例教育委員会 会議録

1 開催日時及び場所

- ・令和元年8月30日（金） 午後2時34分 ～ 午後4時31分
- ・教育委員会室

2 出席者

教育長	安 福 正 寿	事務局職員	
委員	稲 本 正	副教育長	内 木 禎
委員	野 原 正 美	教育次長	堀 貴 雄
委員	森 口 祐 子	義務教育総括監	古 田 秀 人
委員	竹 中 裕 紀	総合教育センター長兼学校支援課長	坂 井 和 裕
委員	近 藤 恵 里	教育総務課長	平 野 孝 之
		教育総務課教育主管（高校）	高 橋 宗 彦
		教育総務課教育主管（義務）	香 田 静 夫
		教育管理課長	山 田 育 康
		教育財務課長	柴 田 雅 道
		教職員課長	中 村 徹 平
		教職員課福利厚生室長	若 野 明
		教職員課教育主管（義務）	丹 羽 美 彦
		教職員課教育主管（高校）	小 野 悟
		教育研修課	鈴 木 健
		学校安全課長	長 屋 秀 樹
		学校安全課生徒指導企画監	石 神 政 幸
		学校支援課教育主管（義務）	服 部 晃 幸
		学校支援課教育主管（高校）	森 岡 孝 文
		特別支援教育課長	青 山 孝
		体育健康課教育主管	見 山 政 克

3 議事日程等

報第1号、報第2号、議題1号、議第2号及び事務局報告(政策)(2)について非公開とすることを決定。

4 会議録

令和元年7月22日開催の定例教育委員会の会議録を承認。

5 審議の概要

別添のとおり

## 会 議 録

発言者	発言内容
事務局報告（政策）	
（１）平成３１年３月県内中学生及び義務教育学校卒業者の進路状況	
教育総務課長	<p>資料５頁をご覧ください。学校基本調査結果の速報が発表されたことを受け、平成３１年３月の県内中学校及び義務教育学校卒業者の進路状況について報告するものである。平成３１年３月の県内中学校及び義務教育学校卒業者数は１９，４６３人で、前年比５７１人の減少となり、２万人を割り込んだ。そのうち、全日制の高校には、県内の公立に１３，６９１人、県内の私立に３，２７９人、県外に４５９人が進学した。その他、県内外の高等専門学校に１８８人、定時制の高校に４４５人、高等特別支援学校や特別支援学校の高等部に２３８人、通信制の高校に９７３人が進学した。通信制の高校への進学率は５．０％で、全国の３．０％と比べて全国２位と高い傾向であった。また、高等学校等への進学率は、過去最高の９９．０２％であった。次に、資料６頁をご覧ください。資料６頁には、各地区別の進学者の内訳を示している。さらに、全日制高校への進学者については、各地区別の進学者数も掲載している。表の見方として、例えば「岐阜から」と記載している欄を下へ見ていただくと、岐阜地区の児童生徒の進学状況等が分かる。多くは同じ岐阜地区の学校へ進学しているが、他地区への進学もみられる。その他に、県内の定時制、通信制への進学者や県外への高校等の進学者についても記載している。次に、資料の７頁をご覧ください。資料７頁は、今後の中学校卒業予定者数について示している。なお、表にある中学校３年生～小学校１年生までの児童生徒数は、学校基本調査結果の速報によるもので、今年度の卒業生は、前年度に比べ８２２人減の予定である。来年度は、４７８人減の予定であり、大きな減少は来年度まで続く。なお、例年、小学校６年生が中学校に進学する際、約２００人の児童が県外の中学校等に進学するため、小６～小１の児童が県内の中学校等を卒業するときの数は、表に示した数から約２００人を引いた数となる。</p>
稲本委員	<p>県内から県外へ進学する児童は約２００人とのことだが、県外から県内へ進学する児童のデータはあるのか。</p>
教育総務課教育主管	<p>資料６頁に記載している表の太枠内が県内中学校を卒業した児童であり、その右側の「県外から」と記載されている欄が、県外から県内への進学者である。これは、一家転住の方々を中心ではないかと考える。一方で、岐阜県では県外募集を行っているが、その数はごく僅かである。</p>
教育次長	<p>私学を見ていただくと、県外からの進学者数が多いことが分かる。また、岐阜地区は１３７人、東濃地区は１４９人という数値を見ると、愛知県から通いやすいということも理由ではないかと考える。</p>
竹中委員	<p>少子化が進んでいるという傾向もあるかもしれないが、県内への進学者の動きを見ると、全日制は減少しているが、高専や定時制、特に通信制に進学する児童は増加している。冗談のように聞こえるかもしれないが、先生に働き方改革があるように、生徒も勉強の仕方改革を始めたのではないかと考える。以前、中日新聞に掲載されていたが、アメリカではホームスクーリングが増えてきている。専門的なことや普段の勉強は家でもできることであり、通信制の学校も充実している。公立の通信制学校もあり、集団で勉強しなければいけない部分もあるが、あとは、無理に学校に行かなくても良いのではないかと考える。児童にも個人差があり、集団が合わないなど、様々な問題がある児童が多くいることから、充実させることを考えるべきである。</p>

## ホームページ用

<p>教育総務課 長</p>	<p>生徒のニーズが多様化してきている。その中で通信制に通われ、進路の実現に向けた選択をしているが、通信制の中身がどのようなかたちであるべきかということを検討しながら、生徒のニーズに答えていけるように中身を充実させていく必要があることは課題として捉えている。</p>
<p>教育次長</p>	<p>通信制で学んで済む生徒は良いが、通信制へ通っている生徒の中には、集団生活になじみ、社会性を身に付けないといけな子どもたちがいるため、その子たちが通信制で済ませてしまっている点が問題である。中学校まで不登校の子どもや、友達がいない子どもたちは、本来であれば全日制や定時制に通い友達と交わることが必要だが、安易に通信制に行ってしまう。全てではないが、そういった進路を自ら選択するという部分が進路指導をするうえで問題となっているため、中学校の進路指導担当者や各市町村教育長と情報共有しながら、改善をしていく必要があると認識している。</p>
<p>竹中委員</p>	<p>学校の良さは集団生活ができることだとは思いますが、教室で45分座って授業を受けることが集団生活ではない。集団でのやり方を工夫すれば通信制でも充実した学校生活を送ることができる子どもがいるのではないかと。子どもの個性に合わせたものを検討したほうがよい。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>通信制高校への進学率が岐阜県は全国2位だが、なぜかというのは検証しているのか。</p>
<p>教育総務課 教育主管</p>	<p>あくまで個人的な見解ではあるが、全国的な状況を見ると、中京圏や関東圏、関西圏において通信制への進学率が高く、通える場所があるからではないかと考える。今回岐阜県は2位だが、1位は愛知県であり、通う範囲内に通信制高校があるというのが理由ではないか。</p>
<p>稲本委員</p>	<p>総合教育会議で外国人児童の問題が挙げられていたが、日本人児童が減少している中で、外国人児童が増加している。県内へ入ってくる児童と、県外へ出ていく児童の内訳として、外国人の割合というのは出ているのか。高校から海外に行く子どももいれば、小学校や中学校、高校で海外からくる子どももいる。この先、国全体の課題としても、人材確保の問題などがあり、人を入れなければ立ち行かないため、そこまで念頭においたデータを今から作っておかなければならないのではないかと。可児市の外国人児童生徒数の話も出ていたが、相当な数であり、外国人が増加すれば、それだけ教育の質を変えなければならない。日本人からすれば異例かもしれないが、ピアスをしてくるのが当たり前のことだと思っている子どもや、必ずしも学校に行かなくても良いのではないかと考える子どももいる。アメリカ辺りでは優秀な子は、学校は遊びに行くところで、勉強は自身のスタイルで行っている。ICTが始動すれば世界的にそのような傾向が出てくる可能性があり、その兆候が日本でも少しずつ出てきているのではないかと。兆候が出た後に対策をしても遅いため、出てきた時から外国人を交えた教育をどう行っていくのか、海外に行く子どもに対する教育をどうするのかを考えなければならない。小学校の時に海外から来た子どもは多くいると思うが、高校から海外に行く子どもや海外から来る子どもはどの程度いるのか。</p>
<p>教育総務課 長</p>	<p>小・中の数値は、先ほどの総合教育会議において見ていただいた。高校では、要日本語指導が必要な外国人生徒は、東濃高校や加茂の定時制高校に比較的集中している状況である。それ以外の学校でも数名程度、生徒が通っている状況になってきている。要日本語指導が必要な外国人児童生徒が今後増えていくのかどうかについては、注視していかなければならないが、小・中で増加しており、その先として、高校で更に学ぶという生徒が増えてくると想定されるため、高校で学んだ後に、どのような進路を選択するかについても注視していかなければならないと考えている。</p>

## ホームページ用

稲本委員	必ずしも在籍しなくても、海外の高校と交流等すれば、そのうち行ったり来たりする可能性が出てくるのではないか。問題点として、海外は9月から学校が始まるが、日本のように4月から学校が始まる国は世界的に少ない。交換留学等含め、今までの学校教育にあるパターンとは少し違う日本語教育をするだけでなく、日本とは違うことも許容範囲に入れたようなことを行わなければ、岐阜県の生徒は減少してしまう。それが出来ているところは、受け入れが出来るようになり、教育が多様化する中の対応が出来るようになるのではないか。なかなか難しい問題だとは思いますが、その辺についても考えていかなければならない時代になってきた気がする。そのためには、まず海外との交流が必要であると考えます。
<b>事務局報告（その他）</b>	
<b>（1）岐阜県における全国レベルの表彰について</b>	
教育総務課長	資料16頁から資料18頁までに、7月分の岐阜県における全国レベルの表彰について記載している。
<b>（2）令和元年度教育委員行事予定について</b>	
教育総務課長	資料19頁に今後の教育委員行事予定を記載している。来月の定例教育委員会の予定や秋には様々な周年行事が予定されているため、委員の皆様には出席をお願いしたい。
稲本委員	アーチェリーやバスケットは有名だと思うが、フェンシングやボートが強いということ、岐阜県民はあまり知らないのではないか。全国1位というのは、すごいことである。
体育健康課教育主管	以前から長年、岐阜県は、フェンシングとアーチェリーで実績を残している。
稲本委員	もう少し宣伝したほうが良いのではないか。
教育次長	インターハイの全国大会のフェンシング会場へ行ったが、対岐阜県にとっても勢いを感じた。周囲は打倒岐阜県と頑張っていた。10数年前は、高校から始める子どもが多かったが、資料を見ていただくと分かるように、小・中の段階から始めている子もいる。その子たちが県内の強い高校へ行き、今年度も良い成績を残すことができた。
<b>報第1号 職員の表彰について（非公開案件）</b>	
教職員の退職時の表彰について諮り、承認された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
<b>報第2号 市町村立学校管理職の人事異動について（非公開案件 事務所限定）</b>	
市町村立学校管理職の人事異動について諮り、承認された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
<b>議第1号 教育委員会の点検評価について（非公開案件）</b>	
教育委員会の点検評価について諮り、可決された。 本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。	

ホームページ用

議第2号 令和2年度使用県立学校の教科書採択について（非公開案件）

県立学校の教科書採択について諮り、可決された。  
本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。

事務局報告（政策）（2） いじめに関する重大事態の発生報告について（非公開案件）

いじめに関する重大事態の報告がなされた。  
本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。

閉会

午後4時31分、閉会を宣言する。

上記会議録は正当であることを認め署名します。

教 育 長

書 記

